

## 第54回 中部一線美術展を終えて

中部支部長 池田 くみ子

- 会期……2022年3月29日(火)～4月3日(日)
- 会場……名古屋市民ギャラリー栄
- 出品者……14名
- 出品点数…27点
- 来場者数…422名

コロナのまん延防止も全国的に解除になり、桜も満開の季節に第54回中部一線美術展を3年ぶりに津島児童館から名古屋市民ギャラリー栄で開催する事が出来ました。

従来施設内に多くある展示室もオミクロン新型の感染者数が下がりきらず、半分の会場がキャンセルにより閉室になりました。他の会場の来場者の立ち寄りも例年より少なく、やや活気に欠ける状態になりましたが、マスク、検温、消毒等感染防止対策を名古屋市の指針に沿って行いながらの会期でした。日によっては座る間もない程の来客があり嬉しい悲鳴でした。

作品は30号を上限に一人2点の出品で各人の画風で描かれ、個性溢れる展示になりました。展示後出展者各人の講評の場を設け、さらに向上出来る糧となれば幸いです。会場には一線美術展、中部一線美術会の案内を置いてPRに努めパンフレットを持ち帰る方も見えました。開催にあたり本部よりの助成に感謝いたしますと共に今後ともご指導のほどお願いいたします。

展示後の懇親会はコロナの影響もあり今回は見送りました。交流の場が無くなり残念ですが次の機会といたします。今年も写生会や小品展を予定していますので、コロナ禍が拡大しない様に願うばかりです。

尚、中部一線展の様子、会員各位の作品は「中部一線美術会ホームページ」

のネット上での展覧会も掲示予定していますので、お楽しみいただければ幸いです。



第54回  
中部一線美術展

2022年 3月29日(火)  
～ 4月3日(日)

名古屋市民ギャラリー栄 3階8室  
名古屋市中区栄4-1-8 名古屋青年会議所ビル  
TEL 052-355-0461

10:00 ▶ 17:00

□ 油彩・水彩・ミクストメディア □  
ご覧いただけましたら幸いです

中部一線美術会

## 中部一線美術会 春の写生会実施報告

写生会担当 太田 篤 幸

- 会期…令和4年4月25日(月)
- 場所…岐阜県・郡上八幡
- 参加人員…6名

今年の春の写生会は、盆踊りの徹夜踊りで有名な、郡上八幡に行ってきました。長良川支流の吉田川両岸に、山上にある郡上八幡城の城下町として広まった、山間の町です。

江戸時代から残る古い町並み、橋の上からの飛込みで有名な清流、吉田川にはみ出して作られた崖の家、山上でらみを利かす郡上八幡城、木々には野生の藤の花と、スケッチポイントがいっぱいあります。

未だ、コロナ感染の高止まりの中で、メンバーを募集しましたが、最終的に6名という少人数での実施となりました。

この為、当初予定していた20名乗りのマイクロバスから、急遽10名乗りのワゴン車に変更し、今や慣れた感染対策の元、出発しました。

前日雨、次の日も雨という天気予報ながら、当日は真夏日に近い気温と快晴の天気、昨年に続き、神架かり的な良い条件になりました。

最近メンバーの高齢化と共に足が痛い、腰が痛い、様々な状況からメンバーが集まりにくくなってきていますが、会としては何とか実施しようと、ワゴン車をお願いし、これが家族旅行のようで、何時も以上に楽しい写生会になりました。

絵を描く者としては、各地に出来るだけ多くの取材をして、多くのストックからいい絵が描けること信じ、写生会を行事の重要な位置づけと考えています。

目的地は、都会に行くのではなく、人の少なく自然の中で、綺麗な空気を胸いっぱい吸って、コロナに打ち勝ちましょう。

